



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 能美防災株式会社

上場取引所 東

コード番号 6744 URL <https://www.nohmi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村 武士

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部担当 (氏名) 小野 泰弘

TEL 03-3265-0214

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,666	6.7	135		31		2	
2023年3月期第1四半期	20,302	13.9	549		415		318	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 354百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 88百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.04	
2023年3月期第1四半期	5.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	144,545	115,718	78.9
2023年3月期	151,602	116,635	75.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 114,096百万円 2023年3月期 114,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		20.00	40.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		23.00		23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,300	5.4	500	2.0	600	12.4	350	13.9	5.80
通期	113,800	7.8	10,000	12.6	10,300	9.3	7,230	3.0	119.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	60,832,771 株	2023年3月期	60,832,771 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	500,251 株	2023年3月期	500,251 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	60,332,520 株	2023年3月期1Q	60,314,850 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、経済活動の正常化が進み、景気には緩やかな回復の動きが見られました。その一方で、世界的な金融引締めや物価上昇の影響などから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当防災業界におきましても、民間設備投資は回復傾向にあり、部品の供給制約は改善傾向にあるものの、原材料価格の上昇の影響などには注視が必要な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028～期待の先をカタチに～」として策定しており、各種の取り組みを2022年度から始め、より高い付加価値を創造できる企業への変革に挑戦しております。

この中長期ビジョンの2年目として積極的な営業活動に努めた結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は36,710百万円（前年同四半期比6.7%増）、売上高は21,666百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

利益につきましては、堅調な需要環境のなかで売上高が増加したことなどに伴い、営業損失は135百万円（前年同四半期は営業損失549百万円）、経常利益は31百万円（前年同四半期は経常損失415百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失318百万円）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は7,661百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は458百万円（前年同四半期比58.6%増）、消火設備につきましては、売上高は7,502百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は669百万円（前年同四半期比23.1%増）、保守点検等につきましては、売上高は5,378百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は696百万円（前年同四半期比49.4%増）、その他につきましては、売上高は1,123百万円（前年同四半期比20.2%増）、営業損失は13百万円（前年同四半期は営業損失13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、現金及び預金4,786百万円の増加、原材料及び貯蔵品853百万円の増加、商品及び製品805百万円の増加等があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産13,972百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,056百万円減少し、144,545百万円となりました。

負債につきましては、電子記録債務4,356百万円の減少、支払手形及び買掛金1,152百万円の減少、未払法人税等943百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ6,138百万円減少し、28,827百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少を主因として、前連結会計年度末に比べ917百万円減少し、115,718百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2023年5月10日に公表した予想数値に現時点での変更はありません。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,805	53,592
受取手形、売掛金及び契約資産	46,395	32,423
商品及び製品	4,528	5,333
仕掛品	1,309	1,521
原材料及び貯蔵品	6,641	7,494
その他	1,415	1,220
貸倒引当金	△440	△446
流動資産合計	108,655	101,138
固定資産		
有形固定資産	23,709	23,528
無形固定資産	3,082	3,426
投資その他の資産		
投資有価証券	7,550	8,001
その他	8,667	8,514
貸倒引当金	△63	△64
投資その他の資産合計	16,154	16,452
固定資産合計	42,946	43,407
資産合計	151,602	144,545
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,305	3,153
電子記録債務	5,231	875
未払法人税等	1,273	329
賞与引当金	3,507	4,233
製品保証引当金	39	40
完成工事補償引当金	85	85
工事損失引当金	1,446	1,454
その他	9,784	9,410
流動負債合計	25,672	19,583
固定負債		
役員退職慰労引当金	147	151
製品保証引当金	114	113
工事履行保証損失引当金	182	182
退職給付に係る負債	7,683	7,676
資産除去債務	118	118
その他	1,047	1,001
固定負債合計	9,293	9,244
負債合計	34,966	28,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,937	12,940
利益剰余金	87,820	86,609
自己株式	△263	△263
株主資本合計	113,797	112,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917	1,199
為替換算調整勘定	823	878
退職給付に係る調整累計額	△595	△570
その他の包括利益累計額合計	1,145	1,507
非支配株主持分	1,693	1,621
純資産合計	116,635	115,718
負債純資産合計	151,602	144,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	20,302	21,666
売上原価	14,791	15,415
売上総利益	5,511	6,251
販売費及び一般管理費	6,061	6,387
営業損失(△)	△549	△135
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	45	53
持分法による投資利益	53	65
為替差益	4	15
保険返戻金	8	6
その他	35	45
営業外収益合計	150	187
営業外費用		
支払利息	1	4
賃貸費用	6	5
その他	7	9
営業外費用合計	16	19
経常利益又は経常損失(△)	△415	31
特別利益		
投資有価証券売却益	38	—
特別利益合計	38	—
特別損失		
固定資産処分損	0	2
新型コロナウイルス感染症による損失	21	—
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△398	29
法人税等	△43	67
四半期純損失(△)	△354	△37
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	△35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△318	△2

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△354	△37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	279
為替換算調整勘定	252	84
退職給付に係る調整額	38	24
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	266	392
四半期包括利益	△88	354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△144	359
非支配株主に係る四半期包括利益	55	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	3,276	439	3,111	6,827	321	7,148	—	7,148
一定の期間にわたり 移転される 財又はサービス	4,105	6,673	1,761	12,540	612	13,153	—	13,153
顧客との契約から生じ る収益	7,382	7,112	4,872	19,367	934	20,302	—	20,302
外部顧客への売上高	7,382	7,112	4,872	19,367	934	20,302	—	20,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	10	—	22	50	72	△72	—
計	7,394	7,122	4,872	19,390	985	20,375	△72	20,302
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	289	544	466	1,299	△13	1,285	△1,835	△549

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,835百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	3,604	395	3,082	7,082	333	7,415	—	7,415
一定の期間にわたり 移転される 財又はサービス	4,057	7,106	2,296	13,461	790	14,251	—	14,251
顧客との契約から生じ る収益	7,661	7,502	5,378	20,543	1,123	21,666	—	21,666
外部顧客への売上高	7,661	7,502	5,378	20,543	1,123	21,666	—	21,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	7	—	27	50	77	△77	—
計	7,682	7,509	5,378	20,570	1,173	21,744	△77	21,666
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	458	669	696	1,824	△13	1,811	△1,947	△135

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,947百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。